

江波地域包括支援センターだより



地域包括支援センターとは、
地域で暮らす高齢者の相談窓口です。

広島市から委託を受け、**神崎・舟入・江波学区を担当**しています。

「介護保険のことを聞きたい」「健康を維持したい」等、**介護や保健・医療・福祉等の相談に対応し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援**します。

また、「詐欺の被害に合った」「財産の管理に自信がない」といった、高齢者の権利や財産等の不安について、権利擁護に関する制度の紹介等を行います。

包括だよりの中に僕が
何匹いるか探してみてね！
正解は裏面のどこかに
載っているよ。



認知症サポーター養成講座をご存じですか？

広島市では「認知症」について正しく理解し、地域で認知症の方とその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症サポーターを養成しています。

昨年度は江波地域包括支援センターの担当圏域では8件、認知症サポーター養成講座を開催しました。今回は昨年度神崎学区で開催した内容をご紹介します。

学区内のいきいき百歳体操の参加者から「身近に認知症の方がいるが、どの様に関わっていけばいいか不安」という声を頂き講座を開催しました。講座後、参加者より「他人事ではなくいつ自分が認知症になるかは分からない。認知症でも、そうでなくても体操教室やサロン等地域の活動に参加し続けられる環境が大切だと思う」、「自分の周りに心配な方はいる。その人に対して自分が出来る事を改めて考える機会になった」と声を頂きました。

後日、その講座に参加された方から「老人会の行事で認知症の勉強会をできませんか」と相談があり、老人会にて講座を開催しました。会には地域の高齢者の方に加えて若い世代の方々も参加されました。

認知症サポーターになったからと言って特別な仕事はありません。サポーターは「応援者」、今まで通りの関わり方で大丈夫です。認知症というだけで地域との関わりが希薄になる方もおられます。地域の中で認知症サポーターが増えることで住み慣れたこの地域で生活していきたいという思いに繋がり、また、認知症の方とその家族が安心して生活を続けられる温かい見守り活動が広がっています。



～認知症サポーター養成講座を 開催してみませんか？～

・認知症サポーターって何？

「認知症サポーター」とは、認知症に対する知識を学び、地域で暮らす認知症の方やそのご家族に対して可能な範囲で手助けをする人のことです。

・何処で行い、誰が教えてくれるの？

依頼があれば、様々な場所で開催することが出来ます。少人数でも開催することが出来ます。

例えば・・・

町内会、サロン等の地域の集まり場所、仲間内の集まり など。

講師は「キャラバン・メイト」と呼ばれる認知症の研究を受けた方が行います。講師料は無料です。

・講座の内容は？

認知症と言う病気や症状について
認知症の人と接する時の対応方法
認知症サポーターに出来る事 など



・講座を受けた後はどうしたらいいの？

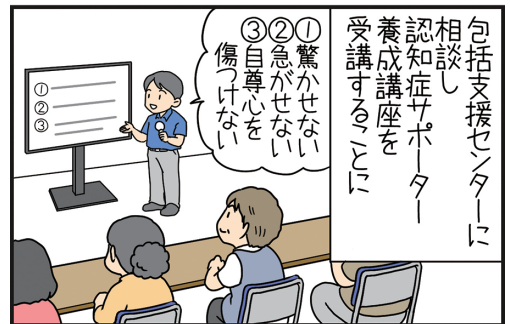
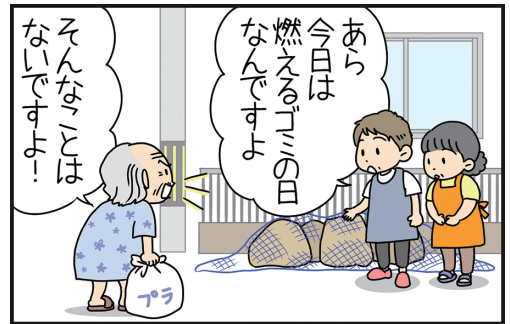
特別な事をしなくても認知症の方を理解し、見守りや声かけを行うだけで大丈夫です。

※認知症カフェ等でボランティアを希望される方は是非、江波地域包括支援センターに声をかけて下さい。

地域包括がいく!!

作者：山田 奈穂

ブログ：<http://naho2010.blog103.fc2.com/>



〒750-0666 広島市江波区江波二丁目 江波地域包括支援センター

☆問い合わせ先☆ お気軽にお問い合わせください

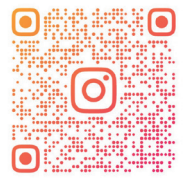
広島市江波地域包括支援センター

TEL: 296-4833 (受付時間: 8:30~18:00)

土日祝日・年末年始も休まず開所しております。

訪問に出て不在のことがあります。来所の際にはお電話でご確認ください。

Instagram開設しました!



@EBAHOUKATSU

気象館通りから見えるこの看板が目印

